

貸与奨学金 収入と支出の報告イメージ

例) 学部4年生かつ自宅外通学の場合

本年度入学者以外は収入と支出は12か月で算出します。

1年生等、本年度入学者は収入と支出は8か月（4月～11月分）で算出します。

あなたの収入の種類	金額(万円)	内訳等
1) 家庭からの給付	60	月5万円×12か月
2) 日本学生支援機構の奨学金（自動表示）	84	(第一種月4万円+第二種月3万円) × 12か月
3) 日本学生支援機構以外の奨学金	0	
4) アルバイト等収入	24	月2万円×12か月
5) その他（貯蓄等の取崩額・臨時収入等）	0	
★収入合計	168	

重複計上とにならないように注意してください。
例) 奨学金の入金をご家族が管理されており、奨学金から仕送りがある場合、「1)家庭からの給付」に「2)奨学金（84万円）」を計上して144万円（60万円+84万円）とすると重複計上となります。

日本学生支援機構 給付奨学金受給の場合はここに計上してください。

あなたの支出の種類	金額(万円)	内訳等（合計時一万円未満は切り捨て）
1) 学費	53	(授業料減免無しの場合)
2) 修学費	5	
3) 家賃	51	月4.3万円×12か月 = 51.6万円
4) 食費	24	月2.0万円×12か月 = 18万円
5) 光熱水料通信費	15	月1.3万円×12か月 = 15.6万円
6) その他（医療費、娯楽・嗜好費等）	12	
7) 機関保証制度の保証料（自動表示）	0	(人的保証の場合)
☆支出合計	160	

授業料満額は1万円未満切り捨てで「53万円」です。
授業料免除者（全額、半額、2/3、1/3 免除）は実際の支払い金額（年額）を入力してください。
例) 前期Ⅰ区分、後期Ⅱ区分の場合
前期0円+後期89,300円→8万円

家賃等を月額で記入する誤りが非常に多いです。
算出は年額で行ってください。

★収入合計 - ☆支出合計(万円)

8

収支差が基準額（学部 36万円・大学院 45万円）を超えると、次年度個別に面談の対象となります。
基準を超えた場合は、計算間違いが無いか今一度ご確認ください。